

「2000 人大集会での決意表明」

代表幹事 津川ともひさ

みなさん、こんばんわ。

こんなに大勢の方に参加いただきました。ありがとうございます。先ほどお話しされた田中耕太郎さんのあとを受け、このたびの県知事選に立候補することを決意しています津川ともひさです。みなさんのご支持ご支援よろしくお祈いします。

昨年11月の記者会見以来5ヶ月、わたくし=津川ともひさは県下を駆け回って市長さん、町長さん、商工会や農協・漁協のみなさんなどなど、たくさんの方とお話しすることができました。

その中で見えてきたことがあります。

(1) それは「地域が壊されている」ことです。

1)現状

・ある公立病院の総師長さんは懇談の席でこんなことを言われました。

「私はこの街が大好きです。でもこの病院がなくなれば、わたしもこの町を出て行きます。親の老後を安心して見ていくことがとてもできないから」

・養父市内の中学校の先生はこう言われました。

「市内では小中一貫校のモデル校としての実験がされている。小学生・中学生が相互乗り入れして授業を受けるのだがその準備・当日・後始末が大変。しかもそれが小学校を統合させる、学校の数を減らすための実験であることがわかりきっている。そのことにいいようなない疲労感・徒労感を覚える」

・神戸市内でも小学校が統廃合され一方では過密学校が生まれています。ある過密校では休み時間のグラウンド使用は学年別にローテーションが組まれている。他校と比べて学校内で骨を折る事故が多い、児童の骨折率が高い。そんなデータも出ています。

2)さて、地域から病院が奪われ、学校がなくなり交通手段までが奪われ、人間として生きることが大変困難になっている。それがいまの兵庫県の実態です。なぜそんなことになっているのか、その原因ははっきりしています

国民の生活実態に、顔を向けられない心を寄せない安倍暴走政治。それに右へならえをし、「消費税増税せよ」と国にハッパをかけるような兵庫県政。原因はそこにあります。

・3年前、福井地裁が大飯原発3号機・4号機の再稼働をみとめないという画期的な判決を下したとき井戸知事はこう言いました。「行き過ぎた判決だ。100%の安全なんて言うていたら車にも飛行機にも乗れない」

一方でこの3月、県会で「原発を再稼働させないように国・電力会社に働きかけよ」という議員の質問・要請に対してこう答弁しました。「それは国が決めること。私に迫られても手

の打ちようがない」どこを向いて政治をしているのか！と思います。

・原発問題に見られる現知事の姿勢はすべての行政課題に貫かれています。

補助金と減税の鳴り物入りで大企業の誘致をすすめ、無駄な大型開発をすすめる。一部の者の利益の草刈り場として地域を提供する。

みなさん、刈り取る草がなくなると大企業はさっさと撤退するのです。

さらには核兵器を積んでいるかもしれない米艦船のために三度も姫路港を提供する。その一方で、住民の福祉とくらしを切り捨て病院・学校・公民館などを壊し、地域で人間らしい生活を営むことがどんどん困難になっているのです。

(2) でもみなさん。五ヶ月の間県下をまわり、地域のもう一つの姿も見えてきました。

・サカナが育たない「やせてしまった海」を前にして、鉄製の巨大な熊手を自前でつくり海に沈めて引っ張って瀬戸内海の海底を耕す努力をされてきた漁師さん。

・トマトを新しいブランド商品とするため、トマトの品種改良だけでなく、それを手がける若い人も育てているとあわじ島農協の組合長さんは語ってくれました。

・地域の子どもたちが遠くの有名校ではなく、地元の高校へこぞっていくよう、地域に根ざした学校づくりを支援されている市長さん。

・地元住民のみなさんが参加する「巡回健康講座」を開き、そこに研修医に参加してもらい、いかにこの病院が地域と密着しているか頼りにされているかを知ってもらい、病院に定着してもらうよう努力されている公立病院。

・そして、病院守れ、学校をなくすな、自分たちの足を守ろう、被災者の生活を支えよ、などなど、粘り強く取り組みを進めている市民の運動、住民運動。それは県下の至るところで見ることができました。

(3) みなさん。

今度の知事選は、地域を住民の手に取り戻す選挙、住民一人ひとりがそこで人生サイクルを充分完結できる、そんな地域に作り替えていく選挙です。

わたし＝津川ともひさは、地域を守りたいとねがう人々としっかり手を結び、兵庫県政を変えます。憲法が輝く兵庫県政を実現します。

①一つ、県民生活こそをささえる県政に転換します。

高校卒業まで医療費は無料。返さなくてもよい奨学金を県独自につくります。老人医療費助成事業を復活充実させます。そして今すぐ最賃1000円、早期に1500円を国に強く迫る兵庫県にします。無駄な大型公共事業を控えればすぐに財源は生まれます。

②二つ、原発ゼロを迫り、再生可能エネルギーへの抜本転換を推進・支援し、全国にそれを発信する県政に変えます。

③三つ、憲法9条を守り生かし、平和にこだわり抜く県政に転換します。戦争法廃止を国に強く求めます。非核兵庫県宣言を行い、日本海を囲んで日本・韓国・中国・ロシアなどの自

治体との間に「東北アジア非核自治体連合」結成めざし自治体外交を展開します。

みなさん。投票日まであと二ヶ月と少し。兵庫県を変え、アベ政治を追い詰めるワクワクするようなこの取り組み、ご一緒に元気に進めていこうではありませんか。

以上、わたくし＝津川ともひさの決意表明とします。

頑 張 り ま す ！ 団 結 、 頑 張 ろ う ！

2242字